

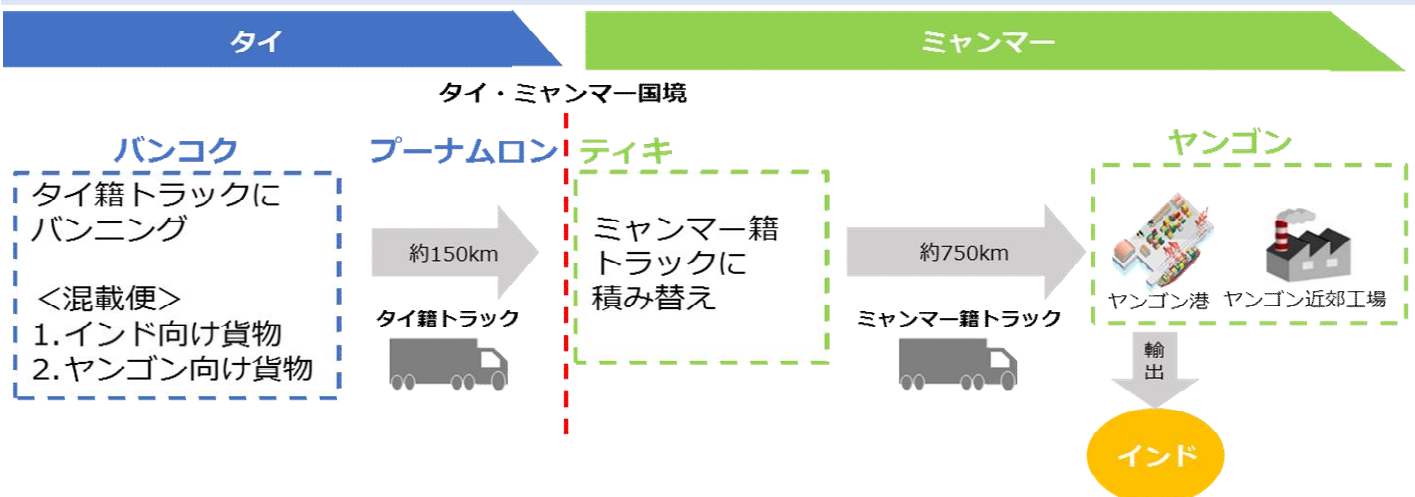
取組の概要

ミャンマー南部ダウエーにおいて、東南アジア最大規模の「ダウエー経済特区」の開発に日本が参加を表明する中、南部経済回廊を活用したタイとミャンマー間における新たな物流システムの実証事業を実施。

【事業実施の背景】

- ✓ 平成27年7月、日本、ミャンマー、タイの3カ国が、ミャンマー南東部のダウエー経済特区プロジェクトを共同で開発することで合意し、意図表明覚書に署名。タイからミャンマーのみならず、メコン地域からインドや中東、アフリカ市場をにらんだ産業拠点が構築されることとなる。
- ✓ ダウエー経済特別区の開発に伴い、タイ～ミャンマー間を結ぶ南部経済回廊の整備もあわせて期待されており、今後当該区間における更なる物流の拡大が見込まれることから、ダウエー開発を視野に南部経済回廊を活用した新たな物流システム開発へのニーズが高まっている。

南部経済回廊を活用したタイ～ミャンマー間における越境物流システムに係る実証事業のイメージ



- タイ・バンコクより、タイ籍トラックにて輸送（インド向け貨物とヤンゴン向け貨物の混載便）
- ミャンマー・ティキにおいて、ミャンマー籍トラックに積み替え

トライアル輸送貨物：
・ 建築部材（衛生陶器）

トライアル輸送

●オペレーション上の課題の検証

南部経済回廊を活用したタイ～ミャンマー間陸上物流ルートにおける、振動測定及び温湿度変化測定の実施

●制度上の課題の検証

タイ～ミャンマー間から第三国（インド）へ輸送する際のトランジット輸送における通関手続き等、法制度・商習慣の把握・実践



日系物流事業者による、タイ～ミャンマー間における新たな越境物流システムの普及・促進